

一般社団法人日本真空学会 平成27年度 総会のお知らせ

平成27年度総会を下記により開催します。万障お繰り合わせのうえご出席下さい。
ご欠席の場合は同封の委任状あるいは書面議決書を、事務局までお送り下さい。

記

日 時 平成27年3月11日（水）午後1時30分から

場 所 機械振興会館 地下3階 研修2号室（東京都港区芝公園3丁目5番8号）

一般社団法人日本真空学会 電話 03-3431-4395

議 題

1. 第1議案 平成26年度事業報告の件
2. 第2議案 平成26年度決算報告の件
3. 第3議案 平成27年度事業計画（案）の件
4. 第4議案 平成27年度予算（案）の件
5. 第5議案 役員改選の件

以上

第1議案

平成26年度事業報告

自 平成26年1月1日
至 平成26年12月31日

(1) 会員異動

1) 個人会員

25. 12. 31 現在 713名（うち学生会員 132名）
入 会 84名（ ” 60名）
退 会 75名（ ” 38名）
26. 12. 31 現在 722名（うち学生会員 154名）

2) 法人会員

口 数	25.12.31 現在		26.12.31 現在			
	会員数	口数	会員数	年間会員 数増減	口数	年間口 数増減
9	1	9	1	0	9	0
8	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0
6	2	12	2	0	12	0
5	5	25	5	0	25	0
4	0	0	0	0	0	0
3	4	12	3	△1	9	△3
2	2	4	2	0	4	0
1	110	110	114	{ +11 △7	114	4
計	124	172	127	△3	173	1

3) 特別会員

25. 12. 31 現在 62口
入 会 0口
退 会 6口
26. 12. 31 現在 56口

(2) 総 会 1回（3月12日開催）

(3) 理事会等

- 理事会 4回
- 協議員会 1回
- 日本真空工業会理事会へ派遣 4回

(4) 委員会

- 事業計画委員会 4回
(拡大事業計画委員会1回を含む)
- 財務委員会 3回
- 教育委員会 6回
- 編集委員会 6回
- 講演・研究会企画委員会 6回
- 産学連携委員会（幹事会） 6回
- 規格・標準委員会 4回
- 広報委員会 0回
- 国際委員会 0回
- 真空技術者資格認定委員会（日本真空工業会と合同）
3回

(5) 部会

- スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会（幹事会） 5回
- 機能薄膜部会 2回
- 真空技術調査部会 3回

(6) 会議等

- 日本真空工業会とのトップ会談 1回
- 法人会員懇談会 1回
- 顕彰審査会 1回
- 表彰審査会 1回
- 真空夏季大学演習担当講師会議 3回
- 規格標準合同検討委員会（日本真空工業会と合同）
5回
- 真空技術者試験委員会 6回
- 将来検討ワーキング 2回
- 事務局運営会議 3回
- JIS 原案作成委員会 7回

- ISO 総会派遣 1 回
- 第55回真空に関する連合講演会 実行委員会 6 回
- 第56回真空に関する連合講演会
 - 合同講演会実行委員会 1 回
 - 実行委員会 1 回
 - プログラム委員会 1 回
- 第36回「VACUUM2014—真空展」ワーキング 3 回
- ISSP2015国際会議実行委員会 4 回
- IUVSTA 理事会 (ECM) へ派遣 1 回

(7) 事業

- 1) 機関誌「Journal of the Vacuum Society of Japan」 12 回発行
 - 小特集
 - 1 号「反応性スパッタリングの基礎」
 - 2 号「ガンマ線イメージングの最新動向」
 - 3 号「スパッタリングをめぐる技術 3」
 - 4 号「第54回真空に関する連合講演会論文集(1)」
 - 5 号「第54回真空に関する連合講演会論文集(2)」
 - 6 号「ガス放出測定信頼性向上に向けて—求められる国際標準化への対応—」
 - 7 号「新奇な薄膜・表面現象とその応用の最前線」
 - 8 号「真空基礎講座2014」
 - 9 号「磁気・スピンイメージングの最前線(1)」
 - 「VACUUM2014—真空展」
 - 10号「磁気・スピンイメージングの最前線(2)」
 - 11号「グラフェンに関連する 2 次元物質についての最先端研究」
 - 12号「グラフェン応用デバイスの新展開」
- 2) 第55回真空に関する連合講演会 11月18日～20日 (大阪府立大学「I-site なんば」)
 - 参加者：249名
 - 基調講演：1 件
 - シンポジウム講演：4 件
 - 特別講演：9 件
 - 受賞記念講演：4 件
 - 一般口頭発表 (9 セッション)：28件
 - 一般ポスター発表：88件
 - 企業展示：20社
 - 企業プレゼン：6 社
 - スクールコース「表面科学研究のための超高真空技術」：参加者21名
- 3) 第54回真空夏季大学
 - 9 月 2 日～5 日 ヤマハリゾートつま恋 96名参加
 - 9 月 5 日 真空応用技術講座 (ヤマハリゾートつま恋) 26名参加
 - 「薄膜の基本技術」9 名参加
 - 「プロセスプラズマの基礎」11名参加
 - 「真空システム」6 名参加
- 4) 第50回真空技術基礎講習会
 - 5 月20日～23日 大阪府立産業技術総合研究所 37 名参加
- 5) 真空技術者資格認定試験 (第12回) 10 月 4 日

東京：機械振興会館，大阪：大阪科学技術センター
 受験者数 1 級91名，2 級169名
 合格者数 1 級14名，2 級95名
 真空主任技術者認定 6 名

- 6) 顕彰・表彰：授与式 11月18日 (大阪府立大学「I-site なんば」)

顕彰

- 第 1 回学会賞 顕彰者：辻 泰
- 第 2 回真空の匠
 - 業績：完全磁気浮上型ターボ分子ポンプの開発
 - 顕彰者：浦野智秋
- 第 2 回真空の匠
 - 業績：イオンプレーティング成膜装置の開発
 - 顕彰者：川下安司
- 第 2 回真空の匠
 - 業績：超高真空走査型プローブ顕微鏡およびナノプローブ表面電気特性測定装置開発への貢献
 - 顕彰者：長村俊彦
- 第 1 回フェロー 顕彰者：荒川一郎
- 第 1 回フェロー 顕彰者：越川孝範
- 第 1 回フェロー 顕彰者：高橋研
- 第 1 回フェロー 顕彰者：平田正紘
- 第 1 回フェロー 顕彰者：松田七美男

表彰

- 第39回熊谷記念真空科学論文賞
 - 業績：真空容器の排気過程に関する新しい物理的描像の提唱
 - 受賞者：杉本敏樹，武安光太郎，福谷克之
- 第39回真空技術賞
 - 業績：マイクロコイル真空計およびマイクロハクマク真空計の開発
 - 受賞者：岡野夕紀子，田尻修一，岡本昭夫，小川倉一，美馬宏司
- 第23回真空進歩賞
 - 業績：圧力-吸着状態密度変換式による水排気曲線の解析
 - 受賞者：武安光太郎
- 第 3 回真空会誌賞
 - 業績：表面分析の基礎 (1) ～ (6)
 - 受賞者：吉原一紘
- 7) 第36回「VACUUM2014—真空展」10月15日～17日 日本真空工業会と共催 (東京ビッグサイト 東 2 ホール)
 - 開催規模：79社・団体 181小間，来場者数：10,849名
 - 日本真空学会企画事業
 - 大学・公的研究機関における真空科学・技術・応用の最先端研究紹介 28件
 - 真空体感コーナー (教育委員会)
 - 10月15日 真空トピックス「スマート社会を実現するためのマイルストーン—2020年へ向けて—」31名参加
 - 10月16日 第15回真空シンポジウム「真空技術と

- ニーズの未来を探る一家庭から福島第一まで」59名参加
- 10月16日 学生ツアー 8名参加 (5大学)
 - 10月16日 規格標準報告会「真空に関する規格の動向と真空計測の不確かさについて」54名参加
- 8) 研究例会
- 2月5日「放射線X線・中性子線技術を利用した溶液に埋もれた界面構造解析」26名参加(日本表面科学会と合同)(東京理科大学 森戸記念館)
 - 5月23日「ターボ分子ポンプの最新動向」58名参加(機械振興会館)
 - 8月6日「センサ研究の展望」20名参加 (機械振興会館)
 - 12月3日「次世代放射光における加速器・真空科学と表面分析」27名参加(東北大学 片平さくらホール)
- 9) 産学連携委員会例会
- 1月21日 28名参加(機械振興会館)
 1. 超薄板ガラスへの成膜
 2. 宇宙エレベーター～人類最大の建造物を創る理由～
 - 3月19日 35名参加(機械振興会館)
 1. “コト”創りによる研究貢献
 2. 世界で一つだけの真空機器を目指して
 3. 真空中の絶縁破壊現象―真空ギャップ絶縁破壊の基礎過程―
 - 5月14日 41名参加(機械振興会館)
 1. 新たな超高真空容器の製作へ挑んだ技術集団
 2. ミニマルファブ構想とその開発の現状
 - 6月18日 24名参加(機械振興会館)
 1. 放電プラズマ焼結(SPS)法の最近の技術動向と真空技術―新材料開発から「モノづくり」を変える―
 2. 最近のエキゾチックプラズマの研究動向―新しいサイエンスとテクノロジーの種(シーズ)―
 - 7月4日 見学会 21名参加
訪問先: 東京都立産業技術研究センター 本部
 - 10月16日 59名参加(東京ビッグサイト)
第15回真空シンポジウム「真空技術とニーズの未来を探る一家庭から福島第一まで」
 1. 生活に欠かせない真空利用技術
 2. 真空管から真空ナノエレクトロニクスへ
 3. ミニマルファブ構想 ～装置と部品の小型化の挑戦～
 - 11月19日 20名参加(大阪府立大学「I-site なんば」)
 1. 日立造船の歴史, 真空事業とCNT
 2. カーボンナノ材料のセンシング応用
 - 12月10日 26名参加 (機械振興会館)
 1. 完全磁気浮上型ターボ分子ポンプの開発四方山話
 2. 大気圧プラズマを用いた新しい低炭素技術(二酸化炭素の資源化)
- 10) SP 部会 定例会, 講習会, 勉強会
- 3月13日「バッファ層を用いた機能膜」(機械振興会館)23名参加
 - 6月2日「プラズマを用いた次世代プロセス技術の展望」(機械振興会館)25名参加
 - 8月28日「新・省エネルギーに貢献する技術開発」(機械振興会館)29名参加
 - 10月15日 真空トピックス「スマート社会を実現するためのマイルストーン―2020年へ向けて―」31名参加(東京ビッグサイト)
 - 11月14日「平成26年度第1回勉強会:パルススパッタリングの利点と欠点―放電原理, プロセス安定性, 薄膜構造の徹底的理解―」(金沢工業大学東京事務所)20名参加
 - 12月4日「第11回技術交流会」20名参加(機械振興会館)
 - 12月8日「平成26年度技術講習会:プロセス用プラズマの生成・計測・応用」20名参加(機械振興会館)
- 11) 機能薄膜部会
- 5月19日「ナノ構造機能創成専門部会 第1回研究会」26名参加
テーマ:ナノ構造制御と機能性創出
(オミクロン ナノテクノロジー ジャパン㈱ セミナールーム)
 - 10月29日「ナノ・キャラクタリゼーション専門部会 第3回研究会」26名参加
テーマ:薄膜の力学特性評価方法
(オミクロン ナノテクノロジー ジャパン㈱ セミナールーム)
- 12) 第61回応用物理学春季学術講演会シンポジウムの実施
- 3月19日「真空の制約を超える:電子やイオンを用いた分析法の実環境測定への挑戦」(青山学院大学 相模原キャンパス)
- 13) 他学協会・団体等からの依頼
共催 1回, 協賛 66回, 後援 2回
- (8) 支部
- 1) 関西支部
- ① 総会 1回
 - ② 役員会 5回
 - ③ 講演会 2回
- 1月20日 2014年度第1回講演会
「分子スケールエレクトロニクスの新展開」(島津製作所関西支社マルチホール)31名参加
 - 10月22日 2014年度第2回講演会 日本真空工業会 関西支部との合同開催
「沈みゆく船・日本を救え―ブレイクスルーのイノベーション理論」
「精密心臓シミュレーターの開発―(使命の経営)から生まれたいのちを救うプロジェクト―」(大阪弥生会館)59名参加
- ④ 研究会 1回
- 6月7日 九州表面・真空研究会2014 日本表面科

学会関西支部，応用物理学会九州支部と共催（福岡教育大学）64名参加

「新奇な薄膜・表面現象とその応用の最前線」

特別講演：2件

1. 表面相転移について
2. ECAP 法によるアルミニウム合金の結晶粒微細化と機械的性質

一般講演：21件

⑤ 講習会 2回

- 5月20日～23日 第50回真空技術基礎講習会
日本真空工業会関西支部，大阪府技術協会との共催
（大阪府立産業技術総合研究所）37名参加
- 8月20日～21日 第6回役に立つ真空技術入門講座
（大阪電気通信大学駅前キャンパス）35名参加

⑥ セミナー 2回

- 7月1日 日本真空学会関西支部&日本表面科学会
関西支部合同セミナー 2014
日本表面科学会関西支部との合同開催
「大気圧プラズマその基礎と新しい医療を目指した取り組み」
（大阪大学豊中キャンパス 大阪大学会館）111名参加
- 12月11日 第7回日本真空学会関西支部 実用技術
セミナー 2014
「暮らしに役立つ低真空・中真空技術」（島津製作所
関西支社マルチホール）59名参加

2) 東海支部

① 総会 1回

② 支部役員会 4回

③ 講演会

- 4月26日 日本表面科学会中部支部・日本真空学会
東海支部 合同講演会
「人工光合成を目指した光触媒および光電極の開発」
「グラフェンの高品質成長と物性・機能探索」
「薄膜雑感—薄膜研究における Laboratory Effect—」
（名古屋大学ベンチャービジネスラボラトリ ベン
チャーホール）45名参加

④ 研究会

- 2月3日「真空が支える先端エネルギー技術」
（名古屋工業大学11号館）31名参加
共催：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部
支部
- 7月18日「暮らしと真空技術」
（名古屋工業大学 2号館）32名参加
共催：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部
支部
- 11月10日「輸送と真空技術」
（名古屋工業大学 1号館）33名参加
協賛：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部
支部

⑤ 講習会

- 第1回 真空技術 超 入門講座

4月9日（名古屋大学 VBL ベンチャーホール）86
名参加

4月16日（名古屋工業大学 2号館）83名参加

協賛：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部
支部，日本真空工業会

平成26年度決算報告

貸 借 対 照 表

平成26年12月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額		増 △減
	H.25.12.31	H.26.12.31	
借方の部			
現 金 ・ 預 金	48,251,342	42,760,554	△5,490,788
現 金	(77,585)	(19,992)	(△57,593)
普 通 預 金	(48,173,757)	(42,740,562)	(△5,433,195)
未 収 金	2,481,950	885,600	△1,596,350
敷 金	2,247,800	2,247,800	0
前 払 金	112,860	1,021,663	908,803
仮 払 金	0	1,210	1,210
退職給付引当資産	2,310,000	3,080,000	770,000
国際会議積立資産	500,000	500,000	0
合 計	55,903,952	50,496,827	△5,407,125
貸方の部			
未 払 金	2,862,216	1,404,091	△1,458,125
預 り 金	7,396,058	7,574,736	178,678
退職給付引当金	2,310,000	3,080,000	770,000
国際会議積立金	500,000	500,000	0
基 金	39,172,254	39,172,254	0
次 期 繰 越 金	3,663,424	△1,234,254	△4,897,678
合 計	55,903,952	50,496,827	△5,407,125

収 支 計 算 書

自 平成26年1月1日

至 平成26年12月31日

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期より繰越	3,663,424	管 理 費	14,572,551
会 費 収 入	14,579,380	運 営 費	35,826,560
事 業 収 入	30,983,148	雑 損 失	463,050
雑 収 入	377,955	次 期 繰 越	△1,234,254
寄 付 金	24,000		
計	49,627,907	計	49,627,907

予算・決算対照表

[収入の部]

(単位：円)

科 目	H26年度予算	H26.1.1～ H26.12.31決算	予算残
前 期 より 繰 越	3,663,424	3,663,424	0
会 費 収 入	14,793,000	14,579,380	213,620
個人会員会費	5,485,000	5,173,000	312,000
学生会員会費	230,000	188,000	42,000
法人会員会費	8,350,000	8,450,000	△100,000
特別会員会費	708,000	688,380	19,620
法人会員入会金	20,000	80,000	△60,000
事 業 収 入	37,318,800	30,983,148	6,335,652
研究例会参加費	225,000	202,590	22,410
真空夏季大学 参 加 費	8,660,000	7,984,000	676,000
真空応用技術 講 座 参 加 費	680,000	419,000	261,000
広 告 費	10,425,000	8,641,680	1,783,320
連 合 講 演 会 参 加 費 等	3,000,000	2,881,100	118,900
産 学 連 携 委 員 会 収 入	220,000	265,000	△45,000
関西支部事業収入	960,000	730,400	229,600
東海支部事業収入	30,000	126,360	△96,360
SP 部会会費収入	1,846,000	1,974,000	△128,000
SP 部会事業収入	600,000	408,000	192,000
機能薄膜部会 会 費 収 入	150,000	0	150,000
機能薄膜部会 参 加 費	0	110,000	△110,000
ISSP 事業収入	0	0	0
真 空 技 術 者 認 定 試 験	3,600,000	3,060,000	540,000
関西基礎講習会	2,555,000	2,101,050	453,950
教育委員会 講習会参加費	0	12,000	△12,000
会 誌 収 入	2,467,800	2,067,968	399,832
購 読 料	(700,000)	(624,332)	(75,668)
別 刷 代	(1,321,000)	(1,182,962)	(138,038)
冊 子 代	(244,500)	(97,961)	(146,539)
投 稿 料	(202,300)	(162,713)	(39,587)
名 簿 収 入	1,900,000	0	1,900,000
雑 収 入	407,000	377,955	29,045
受 取 利 息	8,000	17,256	△9,256
規格・標準委員会 ISO 会議派遣費	199,000	199,000	0
雑 収 入	200,000	161,699	38,301
寄 付 金	0	24,000	△24,000
今 期 計	52,518,800	45,964,483	6,554,317
合 計 (前期繰越+今期計)	56,182,224	49,627,907	6,554,317

[支出の部]

(単位：円)

科 目	H26年度予算	H26.1.1～ H26.12.31決算	予算残
管 理 費	14,660,000	14,572,551	87,449
給 与	5,700,000	5,787,704	△87,704
退職給与引当金	770,000	770,000	0
通 勤 費	250,000	191,860	58,140
福 利 厚 生 費	1,525,000	1,473,640	51,360
事 務 所 費	2,990,000	3,023,141	△33,141
旅 費 交 通 費	60,000	119,650	△59,650
通 信 費	380,000	405,991	△25,991
事務消耗品費	5,000	4,038	962
事 務 雑 費	800,000	743,741	56,259
事務機器リース費	980,000	938,365	41,635
総 会 費	200,000	190,002	9,998
理 事 会 費	1,000,000	924,419	75,581
運 営 費	37,754,800	35,826,560	1,928,240
委員会運営費	7,052,750	6,514,644	538,106
事業計画委員会	(450,000)	(837,321)	(△387,321)
財務委員会	(9,000)	(5,600)	(3,400)
教育委員会	(450,000)	(462,313)	(△12,313)
編集委員会	(420,600)	(242,187)	(178,413)
講演・研究会	(243,450)	(208,013)	(35,437)
企画委員会	(784,500)	(814,282)	(△29,782)
産学連携委員会	(565,200)	(161,043)	(404,157)
規格・標準委員会	(90,000)	(0)	(90,000)
広報委員会	(680,000)	(717,515)	(△37,515)
国際委員会	(2,160,000)	(2,106,770)	(53,230)
真空技術者資格認定委員会	(1,200,000)	(959,600)	(240,400)
資格試験事務経費	1,499,400	1,394,459	104,941
関 西 支 部	276,300	342,430	△66,130
東 海 支 部	2,435,000	2,470,741	△35,741
S P 部 会	(1,785,000)	(1,743,440)	(41,560)
定例会・幹事会運営費	(150,000)	(280,001)	(△130,001)
技術講習会	(500,000)	(447,300)	(52,700)
事務経費	315,000	344,379	△29,379
機能薄膜部会	0	84,159	△84,159
真空技術調査部会	0	260,128	△260,128
ISSP 運 営 費	0	0	0
ISSP 事務経費	306,000	401,564	△95,564
研究例会運営費	2,700,000	2,598,339	101,661
連合講演会運営費	6,750,000	6,912,049	△162,049
真空夏季大学運営費	1,500,000	1,487,000	13,000
真空夏季大学事務経費	0	0	0
真空応用技術講座運営費	2,299,500	2,325,268	△25,768
関西基礎講習会	0	37,898	△37,898
真 空 ・ 表 面 若 手 研 究 会			

科 目	H26年度予算	H26.1.1～ H26.12.31決算	予算残
表 彰 関 係 費	270,000	496,525	△226,525
会 誌 発 行 費	6,845,850	6,491,548	354,302
印 刷 費	(5,521,500)	(5,399,722)	(121,778)
送 料	(1,324,350)	(1,091,826)	(232,524)
編 集 ・ 広 報 業 務 委 託 費	3,090,000	3,005,176	84,824
J-STAGE 利用料	50,000	30,756	19,244
HP 作 成 費	600,000	0	600,000
名 簿 出 版 費	720,000	1,510	718,490
真空展ワーキング	45,000	37,721	7,279
国際会議派遣費	0	0	0
管理費(租税公課)	1,000,000	590,266	409,734
雑 損 失	0	463,050	△463,050
計	52,414,800	50,862,161	1,552,639
次 期 繰 越	3,767,424	△1,234,254	5,001,678
合 計	56,182,224	49,627,907	6,554,317

以上の通り報告いたします。

平成27年 1 月29日

会 長 尾 浦 憲治郎

監査の結果、適正に処理されていることを認めました。

平成27年 1 月29日

監 事 浦 野 智 秋

監 事 村 木 由之亮

第3 議案

平成27年度 事業計画 (案)

- (1) 総 会 1 回
 - (2) 理事会等
 - ・理事会 4 回
 - ・協議委員会 1 回
 - ・日本真空工業会理事会へ派遣 5 回
 - (3) 委員会
 - ・事業計画委員会 3 回
 - ・財務委員会 4 回
 - ・教育委員会 6 回
 - ・編集委員会 6 回
 - ・講演・研究会企画委員会 6 回
 - ・産学連携委員会 (幹事会) 5 回
 - ・規格・標準委員会 6 回
 - ・広報委員会 4 回
 - ・国際委員会 2 回
 - ・真空技術者資格認定委員会 3 回 (日本真空工業会と合同)
 - (4) 部会等
 - ・スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会 5 回
 - ・機能薄膜部会
ナノキャラクター化ゼイション専門部会 2 回
ナノ構造機能創成専門部会 2 回
 - ・真空技術調査部会 4 回
 - (5) 会議等
 - ・顕彰審査会 2 回
 - ・表彰審査会 2 回
 - ・真空夏季大学演習担当講師会議 2 回
 - ・規格標準合同検討委員会 (日本真空工業会と合同) 6 回
 - ・ISO 関連委員会 3 回
 - ・JIS 関連委員会 8 回
 - ・ISO 総会派遣 1 回
 - ・第56回真空に関する連合講演会 実行委員会 4 回
 - ・第37回 VACUUM 2015—真空展 ワーキング 5 回
 - ・ISSP2015 国際会議実行委員会 4 回
 - ・事務局運営会議 1 回
 - ・IUVSTA 派遣 1 回
 - (6) 事 業
 - 1) 機関誌「Journal of the Vacuum Society of Japan」発行 12 回
 - 2) 第56回真空に関する連合講演会 12月1日～3日 (つくば国際会議場, 日本表面科学会と合同)
 - ・併設 展示会 (日本表面科学会と合同)
 - ・併設 スクール 1 回
 - 3) 第55回真空夏季大学 9月1日～4日 (ヤマハリゾートつま恋)
 - ・併設 真空応用技術講座 (3 講座)
 - 4) 第51回真空技術基礎講習会 5月19日～22日 (大阪府立産業技術総合研究所)
(日本真空工業会関西支部, 大阪府技術協会との合同開催)
 - 5) 真空技術者資格認定試験 (日本真空工業会と共催)
 - ・真空主任技術者認定
 - ・1 級・2 級真空技術者 試験日: 10月3日
(東京: 機械振興会館, 大阪: 大阪科学技術センター)
 - 6) 顕彰・表彰
 - ・第2回学会賞
 - ・第3回真空の匠
 - ・第2回フェロー
 - ・第40回熊谷記念真空科学論文賞
 - ・第40回真空技術賞
 - ・第24回真空進歩賞
 - ・第4回真空会誌賞
 - ・優秀ポスター賞
 - ・SP 部会賞
 - 7) 第37回 VACUUM 2015—真空展 9月8日～10日 (パシフィコ横浜)
(日本真空工業会と共催)
日本真空学会企画
 - ・大学・公的研究機関における真空科学・技術・応用の最先端研究紹介
 - ・真空体感コーナー
 - ・真空トピックス
 - ・第16回真空シンポジウム
 - ・学生ツアー
 - 8) 研究例会 4 回 (うち 1 回東京地区以外で開催)
 - 9) 産学連携委員会例会 6 回 (うち, 真空シンポジウム 1 回, 見学会 1 回)
 - 10) 規格標準報告会 1 回 (日本真空工業会と共催)
 - 11) SP 部会 定例会 5 回 (うち技術交流会 1 回), 技術講習会 1 回, 勉強会 2 回
 - 12) 機能薄膜部会
ナノキャラクター化ゼイション専門部会 研究会 2 回
ナノ構造機能創成専門部会 研究会 2 回
 - 13) 真空技術調査部会 セミナー・研究会 1 回
 - 14) 第62回応用物理学春季学術講演会シンポジウム 1 回 3月11日
 - 15) ISSP2015 (スパッタリングおよびプラズマプロセス国際シンポジウム) 7月8日～10日 京都リサーチパーク (京都)
 - 16) 出張真空技術講座 2 回
- (7) 支 部
 - ①関西支部
 - ・総 会 1 回
 - ・役員会 5 回
 - ・研究会 1 回
研究例会「九州真空・表面研究会」(応用物理学会九州支部, 日本表面科学会関西支部との合同開催) 6月13日

- 講演会 2回
2015年度第1回講演会 1月16日
2015年度第2回講演会（日本真空工業会関西支部との合同開催）10月
- 講習会 2回
第51回真空技術基礎講習会 1回 5月19日～22日
（日本真空工業会関西支部，大阪府技術協会との合同開催）
第7回役に立つ真空技術入門講座 1回 8月19日～20日
- セミナー 2回
日本表面科学会関西支部との合同セミナー 7月3日
第8回関西支部実用技術セミナー 12月

②東海支部

- 総会 1回
- 役員会 3回
- 研究会 3回
2015年度第1回研究例会 4月
2015年度第2回研究例会 7月
2015年度第3回研究例会 11月
- スクール 2回
真空技術超入門講座 名古屋大学会場 4月
真空技術超入門講座 名古屋工業大学会場 4月

第4議案

平成27年度予算（案）

[収入の部] (単位：円)

科 目	H27年度予算案
前期より繰越	△1,234,254
会 費 収 入	14,559,380
個人会員会費	5,153,000
学生会員会費	188,000
法人会員会費	8,450,000
特別会員会費	688,380
法人会員入会金	80,000
事業収入	45,198,450
研究例会参加費	250,000
真空夏季大学参加費	8,000,000
真空応用技術講座参加費	420,000
広告費	8,400,000
連合講演会参加費等	4,620,000
産学連携委員会収入	194,000
関西支部事業収入	720,000
東海支部事業収入	110,000
SP部会会費収入	1,980,000
SP部会事業収入	630,000
機能薄膜部会会費収入	500,000
機能薄膜部会参加費	120,000
ISSP事業収入	8,816,150
真空技術者認定試験	3,600,000
関西基礎講習会	2,265,000
教育委員会講習会参加費	300,000
会 誌 収 入	2,373,300
購 読 料	(625,000)
別 刷 代	(1,300,000)
冊 子 代	(246,000)
投 稿 料	(202,300)
名 簿 収 入	1,900,000
雑 収 入	208,000
受 取 利 息	8,000
補 助 金	0
雑収入(規格, DVD売上等)	200,000
寄 付 金	0
今 期 計	59,965,830
合計(前期繰越+今期計)	58,731,576

[支出の部] (単位:円)

科 目	H27年度予算案
管 理 費	13,990,000
給 与	5,700,000
退職給与引当金	400,000
通勤費	250,000
福利厚生費	1,525,000
事務所費	2,990,000
旅費交通費	60,000
通信費	380,000
事務消耗品費	5,000
事務雑費	800,000
事務機器リース費	980,000
総会費	200,000
理事会費	700,000
運 営 費	46,091,600
委員会運営費	6,516,000
事業計画委員会	(593,000)
財務委員会	(8,000)
教育委員会	(423,000)
編集委員会	(263,000)
講演・研究会企画委員会	(224,000)
産学連携委員会	(630,000)
規格・標準委員会	(573,000)
広報委員会	(94,000)
国際委員会	(794,000)
真空技術者資格認定委員会	(1,974,000)
資格試験事務経費	(940,000)
関西支部	1,400,000
東海支部	321,000
S P 部 会	2,453,000
定例会・幹事会運営費	(1,814,000)
技術講習会	(141,000)
勉強会	(28,000)
事務経費	(470,000)
機能薄膜部会	582,000
真空技術調査部会	282,000
I S S P 運 営 費	8,151,000
I S S P 事 務 経 費	282,000
研究例会運営費	413,000
連合講演会運営費	3,183,000
真空夏季大学運営費	6,486,000
真空夏季大学事務経費	1,410,000
真空応用技術講座運営費	0
関西基礎講習会	2,129,000
教育委員会講習会運営費	282,000
真空・表面若手研究会	0
表彰関係費	350,000
顕彰関係費	100,000
会誌発行費	6,634,000
印刷費	(5,542,000)
送料	(1,092,000)
編集・広報業務委託費	3,105,600
J - S T A G E 利用料	50,000
H P 作 成 費	600,000
名簿出版費	720,000
真空展ワーキング	42,000
国際会議派遣費	
管理費(租税公課)	600,000
雑 損 失	0
計	60,081,600
次 期 繰 越 金	△ 1,350,024
合 計	58,731,576

第 5 議案

一般社団法人 日本真空学会 平成27・28年度役員候補者

役 職	No.	氏 名	所 属
理事候補	1	板倉 明子	物質・材料研究機構
	2	稲吉さかえ	(株)アルバック
	3	入江 則裕	入江工研(株)
	4	遠藤 克己	(株)トヤマ
	5	尾浦憲治郎	大阪大学
	6	大岩 烈	オミクロン ナノテクノロジー ジャパン(株)
	7	大林 哲郎	(株)大阪真空機器製作所
	8	沖村 邦雄	東海大学
	9	川上 養一	京都大学
	10	北野 雅裕	北野精機(株)
	11	黒岩 雅英	東京電子(株)
	12	桑田 峰雄	神港精機(株)
	13	後藤 康仁	京都大学
	14	齊藤 芳男	東京大学宇宙線研究所
	15	財満 鎮明	名古屋大学
	16	佐々木正洋	筑波大学
	17	佐藤 弘悦	佐藤真空(株)
	18	篠原 真	(株)島津製作所
	19	鈴木 基史	京都大学
	20	関 口 敦	キヤノンアネルバ(株)
	21	関口 信一	(株)荏原製作所
	22	早田 康成	(株)日立製作所
	23	高橋 主人	大島商船高等専門学校
	24	高橋 直樹	(株)アルバック
	25	種村 眞幸	名古屋工業大学
	26	寺瀬 陽平	(株)岡野製作所
	27	富江 崇	大亜真空(株)
	28	中野 武雄	成蹊大学
	29	中村 健	産業技術総合研究所
	30	長谷川修司	東京大学
	31	福谷 克之	東京大学
	32	本田 融	高エネルギー加速器研究機構
	33	間瀬 一彦	高エネルギー加速器研究機構
	34	道園真一郎	高エネルギー加速器研究機構
	35	湯原 浩	(株)シンクロン
	36	吉田 秀樹	(株)テクノポート
監事候補	1	浦野 智秋	
	2	田中 正俊	横浜国立大学